



編集発行 新宿区教育委員会 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎3209-1111
<http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/>

未来を担う子どもたちの夢と希望をはぐくむ 新宿区教育ビジョンを策定しました

新宿区の子どもたちが、その生涯を切り拓いていく力を身につけ、夢と希望を持って成長していけるよう、区が今後10年間で目指すこれからの教育や取り組みの方向などを示す「教育ビジョン」を策定しました。全文は教育委員会ホームページでご覧いただけます。

問合せ 教育政策課企画調整係
TEL:(5273)3074

教育目標

広い視野と、自らを律し互いを認め、思いやりの心をもつ人

地域の一員として、規範意識や公共の精神に基づき、社会の形成に進んで参画する人

個性や創造力が豊かで、自ら学び、考え、行動する人を育てる教育を推進します。



教育目標を達成するための3つの柱と14の課題



柱1

「生きる力」をはぐくむ質の高い
学校教育を実現します!

確かな学力の向上
豊かな心と健やかな体づくり
言語・体験活動の充実
就学前教育の充実
連携教育の推進

柱3

子どもがいきいき学ぶ
教育環境を実現します!

学校の適正規模の確保と
適正配置
学校の経営力の強化
教員の授業力の向上
支援を要する子どもに応じた
教育の推進
学校施設の整備

柱2

新宿のまちに学び、
家庭や地域とともにすすめる
教育を実現します!

地域との連携による教育の推進
家庭の教育力の向上と活動支援
地域の知の拠点としての図書館
の充実
子どもの安全の確保



1面に引き続き

新宿区教育ビジョン

教育ビジョンでは、今後10年間の新宿区の目指す教育として3つの柱と14の課題を掲げるとともに、今後5年間の教育行政の基本施策と3年間の個別事業について明らかにしています。ここでは、主な個別事業についてご紹介します。

柱1

「生きる力」をはぐくむ質の高い学校教育
実現のための
個別事業

言語活動の充実

教育活動全体を通して、調べ学習をはじめ言語活動を重視した指導を行います。このため、優れた教育活動、指導方法の実践研究を進めます。また、平成21年度に小学3・4年生の全学級に国語辞典を整備し、国語辞典を積極的に活用した効果的な授業を進めます。

放課後等学習支援

授業だけでは学習内容の習得が十分でない生徒に対し、放課後等に週4時間程度の学習指導ができるよう平成21年度から全中学校に学習支援員を配置し、参加した生徒の基礎学力の定着を図ります。

外国人英語教育指導員の配置

新学習指導要領による小学校の外国語活動の必修化に向け、平成21年度から小学5・6年の年間35時間の外国語活動(英語)を先行実施し、そのための外国人英語教育指導員を配置します。

また、中学校では、すべての英語の授業に外国人英語教育指導員を配置し、英語で行う授業を推進します。

道徳教育、「いのちの教育」の充実

すべての教育活動を通して道徳教育を展開するとともに、道徳授業地区公開講座の実施など、スクール・コーディネーターや地域の人材と連携した道徳教育を充実します。

また、人とかかわりや自然とのふれあいを通して、生命や自然を大切にすることをはぐくむ教育を推進します。

子ども園化の推進

就学前の一貫した保育・幼児教育の実施と子育て家庭に対する支援を目的に、平成22年度(仮称)愛日・中町子ども園を、平成23年度(仮称)西新宿子ども園を開設します。今後の地域展開に関しては、子ども園化を希望する私立の幼稚園や保育園も視野にいれ、補助制度等の整備を進めていきます。

地域協働学校

(コミュニティ・スクール)の推進

地域の住民や保護者が学校運営に参画するしくみとして地域協働学校(コミュニティ・スクール)の指定を行います。モデル校での調査研究を踏まえ、期間内に3校の地域協働学校を指定していきます。

家庭の教育力の向上

学校との連携による子どもの仲間づくりプログラムや、入学を機に保護者としての意識を再認識するためのワークショップなど、入学前プログラムを実施します。今後、各学校の状況に適したプログラムや入学後のフォローアップを行うなど、より効果的な運営を行います。

スクール・コーディネーター、 スクールスタッフの活用

学校と地域をつなぐ役割を担うスクール・コーディネーターと、学校図書館における活動や部活動などの支援者としてのスクールスタッフを小・中学校に配置し、様々な地域資源の活用を図り、地域の教育力との相互支援による教育活動を進めます。

新しい中央図書館のあり方の検討

中央図書館の役割や機能を抜本的に見直し、IT社会に対応した情報センターとしての機能を強化した新中央図書館の整備を検討します。

柱2

新宿のまちに学び、
家庭や地域とともにすすめる教育
実現のための
個別事業

学校の情報化の推進

教員に1人1台のパソコン配備、校内LANの整備を行い、教員が情報を共有し、相互に教材を開発・活用できる環境を整備します。また、インターネット環境を整え、どの教室でもIT教材等を効果的に活用した、よりわかる授業を実現します。

学校施設の整備

安心して学べる学校施設を目指し、空調整備を進めるとともに、統合新校建設時や校舎の大規模改修時には、環境に配慮した設備の導入や屋上緑化・壁面緑化等を実施します。

柱3

子どもがいきいき学ぶ
教育環境
実現のための
個別事業

情緒障害等通級指導学級の設置

通級指導が必要な発達障害等のある児童・生徒への支援を充実させるため、中学校の情緒障害等通級指導学級を平成22年度に牛込第三中学校に新設します。また、小学校への増設について調査・検討を進めます。

日本語サポート指導

日本語がわからない状態で日本の学校に編入してくる幼児・児童・生徒に日本の学校生活に慣れ、日本での生活が円滑に行われるように日本語の初期指導に加え、必要な教科学習の支援を行います。

教育委員会の動き

教育委員会について

教育委員会は、区議会の同意を得て区長が任命した6名の委員で構成する合議制の執行機関です。

会議は、毎月1回第1金曜日(都合により変更あり)に定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催して、教育行政の基本的施策の決定や議案の審議をするほか、諸事項について事務局から報告を受けています。

今号では、平成21年1月9日から3月6日までに行われた教育委員会の主な議決事項等をお知らせいたします。

議案

新宿区幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に

関する条例の一部を改正する条例

平成21年度新宿区一般会計予算

新宿区教育ビジョン及びパブリック・コメントの提出意見に対する区の対応について

報告事項

平成21年度新入学 学校選択制度 補欠登録者の繰り上げについて

平成21年度区立幼稚園及び子ども園の学級編制について

四谷子ども園の検証について

(仮称)西新宿子ども園実施設計について

新宿区立図書館3館の指定管理者による管理開始説明会開催及び臨時休館・開館について

新宿区立図書館5館(中央・こども・戸山・北新宿・中町)の開館時間の拡大について

教育委員会はどなたでも傍聴できます

会議の日時、場所、議案については、区役所本庁舎の門前掲示場に掲示しています。

傍聴をご希望される方は、開始時刻の10分前までに会議場へお越しください。その場で傍聴券をお渡しします。ただし、お酒を飲んでいる等傍聴をするのに不相当と認められるときや会議場の都合で多くの方が入場できないときには、傍聴をお断りする場合があります。

また、議案等の内容が個人情報に関係するなど会議を公開することが不相当と教育委員会が決定した場合は、非公開とすることもありますので、あらかじめご了承ください。

問合せ 教育政策課管理係 ☎5273-3070

特集

子どもの頃から身につける「お金」のじゆん

子どもの頃からお金の使い方や税金の仕組みなどを学び健全な金銭感覚を身につけることは、社会で生きる力を養う上で重要なことです。金銭に関わる教育は、さまざまな教科・分野で学ぶことができます。今回は幼稚園での「買い物体験」、小学校に税務署職員の方や税理士の方をお招きして実施する「租税教室」について取り上げます。

問合せ 教育政策課(5273)3074

買い物も料理も自分たちでできるんだ!

花園幼稚園



園児：「にんじん三本と、しいたけ一個ください」。八百屋さん：「しいたけはパック、が正しいかな。はい、どうぞ。今日は何をつくるのかな」。園児：「チンゲンサイのスープ!」。

花園幼稚園では、年に数回の野菜の収穫やキャンプの日などの園行事で料理をする際に、必要な材料を買い物を体験しています。今回は、秋に植えたチンゲンサイが食べ頃になったので、スープを作ると、近所の八百屋さんへ材料を買いに行きました。お買い物に行ったのは、5歳児もり組の子どもたち。あらかじめ持参した袋に、八百屋のおじさんが野菜を入れてくれます。引率の先生がお金を払い、「おつりはいくらかな」と皆で確認します。「お買い物は、単に金銭教育というだけではなく、子どもたちが地域を知る、また、地域の方々に花園幼稚園の子どもたちを知ってもらうことも大きな目的です」と教頭先生。スーパーではなく、あえて地域の商店を選ぶ理由は「人と人との温かなコミュニケーションが取れるから」。

「買ったものは全部でいくらか、おつりはいくらか」とし算ひき算も大切ですが、実は、園児たちが基本的な生活力を身につけるための貴重な体験になっているようです。

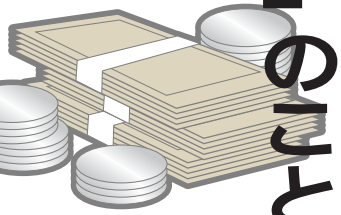


落合第五小学校

私だったらこう作る!“オチ5・タウン”



まず、5時限目に新宿税務署職員の本多さんから税金の種類や仕組みについて学んだ児童たち。続く6時限目は、まちづくりゲームを通して、税金の使い方を考えてみます。グループに、山、まち、川などが描かれた一枚の地図が配られます。「皆さんは、この大統領です。使用できる税金は全部で1000タックス。学校、橋、消防署などの施設建設に必要なお金はそれぞれの施設に書いてあります。全部建てるとお金は足りません。さあ、どこに何を建てるか、理由も考えてみましょう。」「プールは学校にあるからいらさないか」「消防署と警察署は一緒にあったほうが活動しやすいし、施設は一つで済むよ。施設の描かれたカードを手に、額を寄せ合せて考えます。「ゴミ処理場は、山のほうがいいよ。CO2を吸ってくれるから」「橋と公園をつなげたら、隣まちの人もすぐに公園で遊べるよ」そんな、人や環境を思いやる声も聞こえてきます。どうしたら限られた税金を使って住みやすいまちをつくることのできるか、子どもたちの表情は真剣そのもの。「素敵なまちができましたね。ところで、皆さんの使っているプールを作るには、実は1億円くらいかかるんです」と税理士の牧野さんが言うと、「えー!そんなに」と子どもたち。「でも、日本人一人ひとりが1円ずつ払うと、1億円は集まるんですよ。少しずつ出し合って、豊かな生活をしよう、そういう考え方が税金なんですね」。子どもたちは、実際に税金の使いみちを考えてみることで、税金を自分たちの問題として捉えることができたようです。



鶴巻小学校

税金でつくられているもの、分かるかな?



「皆さんの中で習い事をしている人はどのくらいいますか」。クラスの半数以上の子どもが手を挙げます。「習い事には月謝がかかりますね。実は学校も、皆さんが使っている机や椅子などの備品を買ったり、先生のお給料を払ったりするお金がかかっています。もし、皆さんが学校に月謝を払うと、いくらかかると思いませんか」。鶴巻小学校で行われた租税教室の様子です。身近な問題をクイズ形式で出題し、税金が何にどのくらい使われているのかを学びます。

ちなみに先ほどの答えは7万円。「皆さんが6年間学校に通うと50万円くらいかかります。これは何で賄われているでしょう」「税金!」と子どもたち。授業では、公共施設にはどんなものがあるか、公共サービスとは何か、税金の必要性などをパネルやビデオを使って視覚的に紹介。最後に消費税を例に、税金を納めるところから、予算として計上され使われるまでの流れを学びました。1年間に10兆円もの消費税が集まることには、子どもたちもびっくり。税理士の宮島さんは「今、世の中で消費税を上げる上げないという議論をしていますね。日本は借金をたくさん抱えています。少子高齢化が進んでいて税金を納める人が減るので、借金を返すのは大変なことですよ。皆さんも自分が大人になったときの問題として、こうしたことを今のうちから真剣に考えてください」と子どもたちに訴えかけました。

ご指導頂いた東京税理士会四谷支部長さん 四谷税務署の方にお伺いしました

租税教室を開く趣旨を教えてください。

四谷支部長 山田さん 「わが国では、税金はお上に徴収されるもの、という概念ばかりが浸透して、肝心な税金の用途については意識が低い。子どもの頃から、税について正しい知識と理解を得ることが必要だと思います」

小学生にはどのような指導をしていますか。

四谷税務署 久田さん 「税金を何に使えばよいかを考えてもらいたいので、小学生には税金を『会費』に置き換えて話をしています。中学生になれば財政赤字などにも触れて、税金の必要性などの理解も深めてもらいます」

何故、今租税教育なのでしょう。

四谷支部長 山田さん 「日本は終身雇用制度で、所得税は会社が給料から天引きして、年末調整で精算されることがほとんどでした。だから納めた税金がどのように還元されているかという意識もないでしょう。本来、自主申告制度です。外国では、税金を計算するセンターのようなものがたくさん存在するのが一般的です。グローバル社会で生き抜くために、これからは一人ひとりが申告制度を理解することが必要です」

平成20年度 新宿区教育委員会幼児・児童・生徒表彰者等発表

平成21年3月17日に「平成20年度新宿区教育委員会幼児・児童・生徒表彰」を行いました。受賞されたみなさんおめでとうございます。



【団体の部】

牛込仲之小学校 「ギネスに挑戦」 117人118脚(世界記録達成)

牛込第三中学校 吹奏楽部 第48回東京都中学校吹奏楽連盟主催コンクール金賞及び地域活動への貢献

西戸山中学校 駅伝競走男子チーム 第61回東京都中学校駅伝競走大会優勝(大会新記録)

新宿シニアチーム 2008年度全日本リトル野球協会リトルシニア関東連盟東京支部秋季大会 優勝

【個人の部・小学生】

市谷小学校 西沢 樹(5年) 第9回全日本少年フェンシング団体選手権大会小学生男子フルール・サーブル 優勝

牛込仲之小学校 平野 翔大(6年) 第29回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会小学生の部 優勝

【個人の部・中学生】

四谷中学校 福島 はづき(1年) 金 智恵(1年) 稲田 満理絵(1年) 全国中学生創造ものづくり競技大会「家庭分野」東京都大会「あなたのためのおべんとうコンクール」第1位

落合第二中学校 西原 寛人(3年) 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会男子13~14才 50m背泳ぎ 第1位

問合せ 教育指導課(5273)3084

新宿区は、身近な環境に配慮した「地球にやさしいまちづくり」を推進しています。「しんじゅくの教育」は、森林資源の保護とリサイクル推進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。

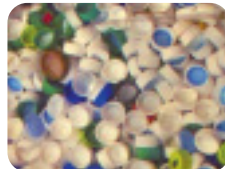
住みやすく美しい地球を守ろう! 環境学習発表会

2月21日(土)に環境学習発表会が開かれました。学校で子どもたちは、今直面している環境の問題を考え、美しい地球を守るためにできることを学んできました。発表会ではその様々な取り組みが紹介されました。

その取り組みのひとつが「エコキャップ活動」。ペットボトルキャップを分別して回収しリサイクル業者に渡すと、NPO団体を通じ発展途上国の人々の命を救うBCGワクチンやはしかのワクチン提供につながり、さらに資源の節約や、ゴミとして処分される場合の二酸化炭素削減にも貢献できます。この活動を行った早稲田小学校では、2ヶ月間で当初の予想をはるかに上回る90ℓのポリ袋5袋分のキャップが集まりました。

このほかにも、まちの空き地を使い、畑の整備・種植え・収穫までの一連の作業を通して自然の大切さを実感することができる農業体験や、家庭での省エネを進めるKid's ISO14000などの取り組みが次々と紹介されました。

「自分の生活は世界中の環境問題につながっていることに気づいた」「省エネについて家族で話し合うようになった」と変化を口にします。子どもたちは学習を通じ、直面している環境問題を身近に感じ、環境を守るために一人ひとりができることを実践しています。



たくさん集まった
ペットボトルキャップ



いっぱいどれたよ!
西戸山小「百人町草花隊」の活動



花で美しく飾って
このまちの環境を守ろう!
こちらは「花いっぱい運動」四谷小

21年間続く

市谷小学校と金沢小学校(岩手県花泉町)の交流会

春と夏の2回、お互いの町を行き来し、いろいろな体験やホームステイを経験する市谷小学校と金沢小学校(岩手県花泉町)の交流会。PTAや保護者、地域の方々のご協力のもと、長い間両校の児童が交流を深め合ってきました。この交流会を、昨夏の金沢小学校での交流の様子と、PTA会長の津吹一晴さんのお話から紹介します。



川に入っのイワナつかみに子どもたちも大喜び

市谷小の4・5年生希望者78名が金沢小を訪れ、3日間のうちに金沢小の子どもたちと様々な体験をしました。

恵まれた自然の中では、いろいろな草花や生き物を見つける「ネイチャービンゴゲーム」や沢遊びを体験。川に入っのイワナつかみでは「捕まえた!」「ぬるぬるしているから捕まえられないよ!」とみんな大はしゃぎでした。

夜は、火を囲んで仲良く歌ったり踊ったりのキャンプファイアー。クライ

笑顔いっぱいやさしい緑と光の輪を広げよう



両校の子どもたちが仲良くパシャリ

マックスに、特大花火が打ち上げられると、夜空に浮かぶ迫力満点の大輪の花にみんな見入っていました。

ホームステイ先のそれぞれの家庭でも、ぬくもりある温かいもてなしを受け、都会ではなかなか味わうことのできない自然体験をすっかり満喫し、忘れられない夏の貴重な思い出をつくることができました。

「交流の一番いいところは、両校の子ども笑顔です」とPTA会長の津吹一晴さんはいいます。「市谷の子どもは、体験したことの無い自然に目をきらきら輝かせ、また金沢の子どもも我々が当たり前と思っていた都会の景色に目を輝かせます。4・5年生になり参加できることを楽しみにしている子どもたちの期待を裏切らないように、今後も頑張って続けていきたいと思ひます」と話してくれました。PTAや保護者、地域の方々の「子どもたちの笑顔のためにいい交流会を作りたい」という熱い思いがあるからこそ、21年という長い間、この交流会が続いてきているのだと感じました。

図書館からのお知らせ

区立図書館5館(中央・こども・戸山・北新宿・中町)の開館時間拡大について

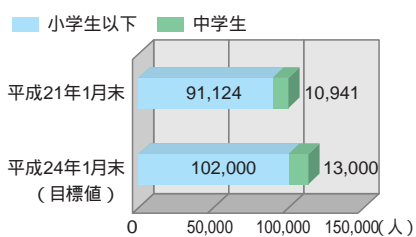
平成21年4月より区立図書館5館(中央・こども・戸山・北新宿・中町)は、開館時間を1時間早め、午前9時から開館となりました。是非、ご利用ください。
なお、四谷・角筈・大久保図書館は平成22年4月に、鶴巻・西落合図書館は平成23年4月に順次開館時間を拡大していく予定です。今後も、利用者満足度の高い図書館を目指し、サービスの充実を図ってまいります。

問合せ 中央図書館 (3364)1421

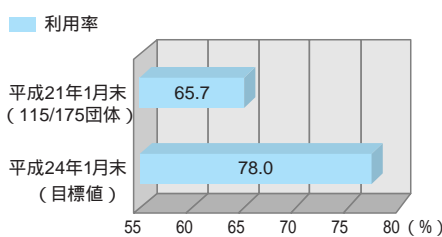
第二次新宿区子ども読書活動推進計画の進捗状況について

3月16日に新宿区子ども読書活動推進会議(座長・秋田喜代美 東京大学大学院教授)が開催され、「第二次新宿区子ども読書活動推進計画」における数値目標の平成20年度(平成20年2月~平成21年1月)の達成状況が公表されました。数値目標を定めた評価指標や平成20年度の達成状況については下表のとおりです。

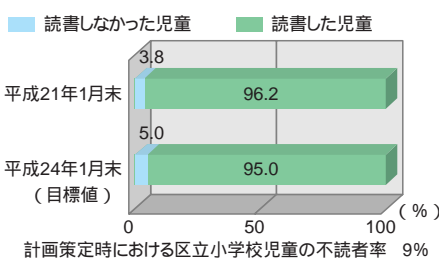
1. 区立図書館の子どもの延べ利用人数 (対象者:区内在住者)



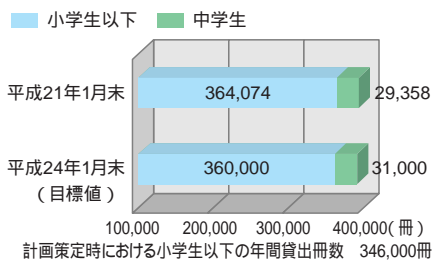
3. 区立図書館における団体貸出の利用率 (区内公私立保育園・幼稚園・児童館・子ども園・小学校・中学校)



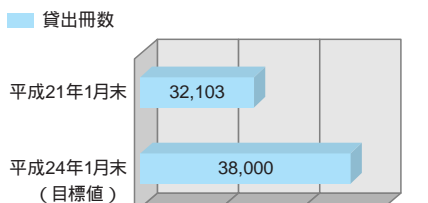
5-1. 区立小学校児童の不読者率 (1ヶ月間に本を1冊も読んでいない児童の割合)



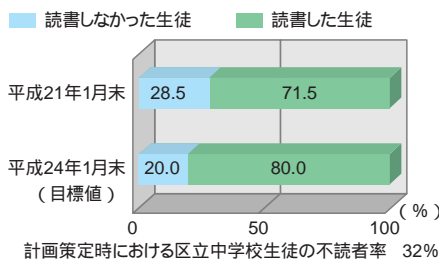
2. 区立図書館における年間貸出冊数 (対象者:区内在住者)



4. 区立図書館における団体貸出冊数 (区内公私立保育園・幼稚園・児童館・子ども園・小学校・中学校)



5-2. 区立中学校生徒の不読者率 (1ヶ月間に本を1冊も読んでいない生徒の割合)



平成21年度新規事業

子どもたちにとって読書がより身近なものとなり大切な本と出会えるよう、今年度新たに次の4つの新規事業を展開します。

- 絵本でふれあう子育て支援
- 3歳児健診時に読み聞かせの実施及び区立図書館にて絵本の配付
- 親力向上のための講演会開催
- 読書塾の開催
- 区立小中学校へ図書館司書の派遣

問合せ こども図書館 (3364)1421